

Ginkgo flower いちょうの花

中原小学校校長室だより 第7号 令和2年10月30日

修学旅行に行ってきました。

実際に被爆された方のお話を聞きました。子どもたちが感じたこと、学んだことを今後、何かのかたちでお伝えできればと思います。私は次のお話が、とても印象に残っています。

「焼け野原を歩いていると、火傷によって苦しんでいる方々を見つけました。『水を・・・、水を・・・。』と言われていました。どうにかできないかと、手に水をすくって運びましたが、途中で全部なくなってしまう。入れ物を探しましたが、なかなか見つかりません。瓦礫の下で燃えている布団を見つけました。火を消して、水を含んで運びました。やっと水を飲ませることができました。周囲にいる方にも、何回も水を運んで飲ませました。しかし、しばらくすると、その方々は亡くなってしまわれました。助けようとしたのに、これでよかったのだろうかと思いました。」

(ホームページ学校生活10月21日掲載「修学旅行記(原爆資料館編)」より抜粋)

南小国に向けて出発です。朝、少し曇っていましたが、今はよく晴れています。バスのなかでは、バスガイドさんに旅行の振り返りをしていただきました。クイズも織り交ぜていただき、楽しく過ごすことができました。永井隆先生の話もしていただきました。なかでも、「8月9日の朝、先生はいつもどおり出勤されました。しかし、お弁当を忘れたことに気づき、引き返されたそうです。ご自宅に戻られた先生は、妻である緑さんが泣いておられる姿を見ます。日常は気丈に振る舞われた緑さんも、白血病と診断された博士のことを思って誰も見ていないところで泣いておられたのだと思います。博士は緑さんに声をかけずに、仕事場である大学へと向かわれました。それが、最後の別れとなりました。原爆投下後、ご自身も被爆されながら救護活動にあたられます。3日後に帰宅、台所跡から骨片だけとなった緑さんの遺骸を発見し、その骨片を拾い埋葬されたそうです。」そして、「長崎の鐘」を歌っていただきました。

召されて妻は 天国へ 別れてひとり 旅立ちぬ
かたみに残る ロザリオの 鎖に白き わが涙
なぐさめ はげまし 長崎の ああ 長崎の鐘が鳴る

年齢を重ねる毎に涙もろくなりましたが、自然と涙が流れてきました。もし、朝、出かけるのときに見た妻や娘の姿が最後の別れになってしまったら、私はどう行動するのかを考えていました。歴史を学ぶうえで、大事にしたいことがあります。その場面に行くことができないからこそ、事実を学び、イメージすることです。命と人権を学ぶとき、大事にしたいことがあります。自分を重ね合わせ、自分のこととして考えることです。最近、私の妻と娘が「連続テレビ小説エール」を録画して見ているので、一緒に見ます。今週はちょうど「長崎の鐘」がつけられたエピソードが描かれます。イメージをふくらませ、当時のことを考えたいと思います。

17:00ちょうどに役場到着です。不思議なくらいに時間ぴったりでした。解団式で、こんな話をしました。「今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な場面で制限があります。しかし、マイナスをプラスにかえようと努力するあなたたちの姿にとっても感動し



て、涙が出てきます。運動会もそうでした。そして、修学旅行にどうしても行きたい6年生の強い思いと、どうしても修学旅行に行かせたい保護者の皆様、教育委員会の皆様、各学校の先生方の思いが重なり合って、修学旅行を無事に終わることができました。すべての皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。」

(ホームページ学校生活10月21日掲載「修学旅行記(グラバー園編)」より抜粋)

併せて、以下のホームページ学校生活の「修学旅行記」もお読みください。



10月7日掲載「修学旅行記(吉野ヶ里遺跡編)」

10月9日掲載「修学旅行記(宇宙科学館編)」

10月14日掲載「修学旅行記(平和公園編)」

10月14日掲載「修学旅行記(ホテル編)」

10月21日掲載「修学旅行記(原爆資料館編)」

10月21日掲載「修学旅行記(グラバー園編)」

「自分だったらどうするか」を必ず考えてほしい

前期終業式で、子どもたちにこんな話をしました。

「新型コロナウイルス感染症の広がりにより、いつも違う前期になりましたが、節目のときを迎えています。節目では成長するために必ず、自分自身を振り返ってほしいと思います。校長先生からは「プラス思考を持つ人」になれたかどうかを聞きます。正直に答えてください。なれた人は手を挙げてください。できた人はどんな場面でどんな風にできたのか、できなかった人はどうしてできなかったのかを考えてください。そして、次につなげていくことが大切です。

もう一つ、考えてほしいことがあります。命や人権について学ぶとき、「自分だったらどうするか」を必ず考えてほしいと思います。特に、6年生は長崎に学びました。自分自身と重ねて、学びを深めてください。1～5年生のみんなも同じです。それでは、みんなに宿題です。『もし、大切な人が新型コロナウイルスに感染したら、あなたはどうしますか?』後期が始まってから、みんなで学んでいきたいと思えます。元気、元気、元気の森校長先生からのお願いです。これで、お話を終わります。」

集会の様子は、ホームページの学校生活10月15日掲載「銀杏の樹のしたで(前期終業式)」をご覧ください。



もし、大切な人が

新型コロナウイルスに感染したら

後期始業式で、子どもたちにこんな話をしました。

「短い秋休みでしたが、前期を振り返ることができたでしょうか?次につなげるため、振り返りをもとに後期の目標を立てましょう。

そして、もう一つ。「もし、大切な人が新型コロナウイルスに感染したら、あなたはどうしますか?」という宿題について考えてきましたか?具体的には、いくつかの場面を考える必要があります。

- ① 新型コロナウイルス感染症にかからないために、毎日どんなことをしているか?
- ② 大切な人が新型コロナウイルス感染症になってしまったら、どう行動するか?
- ③ 大切な人が新型コロナウイルス感染症から直ったとき、どう行動するか?

ぜひ、教室で意見を出し合ってください。元気、元気、元気の森校長先生からのお願いです。これで、お話を終わります。」

集会の様子は、ホームページの学校生活10月15日掲載「銀杏の樹のしたで(後期始業式)」をご覧ください。

